

2021年9月期 第3四半期 業績ハイライト資料

株式会社アクセスグループ・ホールディングスは、2021年9月期 第3四半期（2020年10月1日～2021年6月30日）の業績を発表しましたので、その概況について補足説明をいたします。

■ **売上高 2,455百万円（前期比△16.1%）。緊急事態宣言影響も、教育機関支援事業は堅調。**

- ・プロモーション支援事業は、前期比△18.0%。デジタル・CP事務局*伸長。住宅・不動産、CATV等が軟調。
- ・採用支援報事業は、同△36.4%。緊急事態宣言によるイベント延期・キャンセル等の要因で連合企画が軟調。
- ・教育機関支援事業は、同+34.1%。国内進学・外国人留学生分野ともに伸長。個別案件が拡大。

■ **営業利益 △174百万円（前期比△58百万円**）。売上高と同様の要因。**

- ・プロモーション支援事業は、前期比△51百万円**。前年同期比で原価率改善。売上減を一定程度吸収。
- ・採用支援事業は、同△150百万円**。前年同期比で原価率改善も、利益率高い連合企画売上減が影響。
- ・教育機関支援事業は、同+148百万円**。売上高伸長と連動。連合企画の利益率が想定を上回る。
- ・当社（アクセスグループ・ホールディングス）も経費抑制に努め、連結の営業損失拡大を抑止。

■ **通期の業績予想は修正。翌期分の受注は前年同期を上回る水準。他社との業務提携・新規事業にまい進。**

- ・売上33億円（前回予想比19.5%減）、営業利益△2億50百万円（同△2億70百万円減**）。
- ・プロモーション支援事業は、伸長傾向のデジタルとCP事務局*、発送代行、防災の4領域を核に事業展開。
- ・採用支援事業は、市場ニーズの高い新卒紹介、ダイレクトリクルーティングを拡大へ。連合企画厳選し、個別案件拡大へ。
- ・教育機関支援事業は、教育機関との総合取引を拡大。資格団体、塾、民間企業にも取引基盤を拡大へ。
- ・翌期（2022年9月期）計上予定分の受注は、連結ベースで前年同期を上回る水準で推移。
- ・他社との業務提携や新規事業の開拓を図り、特にデジタル商材や大型案件受注の強化と他社とのシナジーによる売上・利益の拡大にまい進。方向性がまとまった事案から、順次情報提供予定。

*CP事務局＝キャンペーン事務局 **前期または当期が損失になることから、金額による表記をしております。 （百万円未満切捨）

1. 第3四半期累計期間 連結業績概況

※単位：百万円。百万円未満切捨

連結業績	2020年9月期 第3四半期累計期間	2021年9月期 第3四半期累計期間	増減率
売上高	2,926	2,455	△16.1%
営業利益	△115	△174	—
経常利益	△130	△187	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△168	△370	—

2. 第3四半期累計期間 セグメント別売上高

※単位：百万円。百万円未満切捨

セグメント別売上高	2020年9月期 第3四半期累計期間	2021年9月期 第3四半期累計期間	増減率
プロモーション支援事業	1,032	846	△18.0%
採用支援事業	1,320	839	△36.4%
教育機関支援事業	574	769	34.1%
合計	2,926	2,455	△16.1%

※上記数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含んでおりません。

3. 第3四半期累計期間 セグメント別利益又は損失

※単位：百万円。百万円未満切捨

セグメント別 利益又は損失	2020年9月期 第3四半期累計期間	2021年9月期 第3四半期累計期間	増減率
プロモーション支援事業	△ 24	△ 75	—
採用支援事業	△ 10	△ 160	—
教育機関支援事業	△ 111	37	—
調整額	30	24	△ 21.3%
合計	△ 115	△ 174	—

4. 第3四半期累計期間の業績補足説明

【 売上面の補足説明 】

<全体>

連結売上高は 2,455 百万円（前年同期比 16.1%減）となりました。

キャンペーン事務局やデジタル商材が伸長したほか、教育機関支援事業は旺盛な受験生獲得ニーズを反映し、堅調に推移いたしました。また、当社の持つイベント運営やアウトソーシングのノウハウと、2020 年から取扱いを開始した衛生商材やレンタル商材を組み合わせることで、新型コロナウイルスのワクチン接種会場や職域接種の事務代行作業を複数自治体や企業、学校法人等から受託するなど、新たな取り組みも結実いたしました。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、それに伴う政府の緊急事態宣言の延長や再発出が続いたことから、プロモーション支援事業において、集客や紙媒体でのプロモーションニーズが想定の水準まで回復し切らない状況となりました。また、採用支援事業において、連合企画の日程変更や参画キャンセル等が発生したほか、企業が従来のイベント参画型から成果報酬型に採用手法をシフトする動きが急速に加速し、連合企画に影響を与えました。

<プロモーション支援事業>

プロモーション支援事業では、巣ごもり需要の増加も反映し、食料品や家電品など小売系を中心としたキャンペーン事務局案件が増加したほか、位置情報活用型 DSP 広告を始めとしたデジタル商材シリーズが伸長しました。また、新型コロナウイルスのワクチン接種会場や職域接種の事務代行サービスも、複数案件受託いたしました。それらを要因として、主に広告代理店分野、公的機関・公共分野が堅調に推移いたしました。一方、住宅・不動産分野について不動産モデルルームへの集客ニーズが引き続き抑制的となったほか、ケーブルテレビ分野を中心としてポスティング等の紙媒体への引き合いが減少し、感染拡大の影響が続く外食・小売、旅行・宿泊の各分野の案件も低迷いたしました。

<採用支援事業>

採用支援事業では、クライアントの Web イベントサポートやアウトソーシング分野が堅調に推移しましたが、政府の緊急事態宣言が断続的に発出・延長されたことから、採用関連イベントについて、企画の日程変更や参画キャンセルが発生しました。また、人流抑制の要請が長く続き、学生がオンラインイベントで関心のある企業のみを視聴する傾向が強まり、それ以外の企業が十分に母集団形成できない状況が続きました。そのため、企業が従来のイベント参画型から、応募者の内定承諾時に料金が発生する成果報酬型モデルによる採用活動にシフトする傾向が急速に強まりました。その結果、これまで売上・利益を牽引してきた連合企画の売上が伸び悩み、さらに、感染拡大の影響を受ける一部業界での採用手控え等を要因として、前年同期及び想定を下回りました。

<教育機関支援事業>

教育機関支援事業では、前期、緊急事態宣言に伴い、中止・延期とした対面型の進学企画や受託案件（イ

イベント運営)を予定通り実施したことにより、前年同期を上回りました。また、個別案件では、デジタル商材が伸長しほぼ想定通り推移し増収となりました。

【 損益面の補足説明 】

連結営業利益は△174百万円（前年同期は△115百万円）となりました。

損益面においても、売上面と同様の要因となっておりますが、それ以外の補足事項は以下の通りです。

プロモーション支援事業では、前期取り扱いの多かった原価率の高い衛生商材が減少したことから、原価率が大きく改善しました。デジタル商材へのシフトなどもあり、第3四半期（4～6月の3ヶ月間）の比較としては前年同期を上回るなど回復基調にあります。

採用支援事業では、プロモーション支援事業と同様の要因で、原価率は改善しました。

教育機関支援事業では、進学企画が想定の利益率を上回り、増益分に大きく寄与しました。

【 その他の補足説明 】

特別損失として、減損損失を計上いたしました。（詳細は、「6. 通期業績予想 修正の理由」をご参照ください）

5. 通期 連結業績の見通し

2020年11月13日に公表いたしました連結業績予想を、2021年8月13日に下記のとおり修正させていただきます。

※百万円未満切捨

連結業績	2021年9月期通期		増減額 (B-A)	増減率	2020年9月期 通期
	前回発表(A)	今回発表(B)			
売上高	百万円 4,100	百万円 3,300	百万円 △ 800	% △ 19.5	百万円 3,789
営業利益	20	△ 250	△ 270	-	△ 171
経常利益	△ 6	△ 272	△ 266	-	△ 189
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 9	△ 472	△ 463	-	△ 310
1株あたり 当期純利益	△7円38銭	△393円50銭			△258円79銭

6. 通期業績予想 修正の理由

当社では、本格的な需要の回復が2021年春以降になると見込んで、当期（2021年9月期）は下半期に比重を置いて業績予想の判断をしておりました。また、伸長傾向にあるプロモーション支援事業のデジタル商材やキャンペーン事務局と、市場が拡大基調にある採用分野の成果報酬型サービス（採用支援事業）の拡充に努めるとともに、自社イベントスペース「アクセススペース」の閉鎖（青山）や縮小（梅田）、オフィスの統合など、各種合理化施策と継続的な経費削減にも取り組んでまいりました。さらに、教育機関支援事業が外国人留学生分野の伸長もあって堅調に推移したことや、プロモーション支援事業を中心としてワクチン接種会場の運営、職域接種の事務代行も複数のクライアントから受注してきたことを受け、下半期での復調を見込んで、これまで通期の連結業績予想を据え置き判断をしておりました。

一方、当社グループの事業拠点のある東京・大阪を始めとした地域に4月25日に再々発出された緊急事態

宣言が、当初予定を大きく超えて6月20日まで延長されたことや、人流抑制の要請が継続されたことから、プロモーション支援事業及び採用支援事業の受注に影響が生じました。そのため、連結ベースの売上高が8億円減少する見通しとなりました。プロモーション支援事業においては、集客ニーズの抑制やプロモーションの自粛、予算の抑制傾向が強まり、特に住宅・不動産分野やケーブルテレビ分野、外食・小売分野の受注ペースが、想定水準に達しない状況が続きました。その結果、プロモーション支援事業が約3億円の売上未達となる見通しです。また、採用支援事業においては、緊急事態宣言に伴う対面型イベントへの出展見送りが発生したほか、応募者の内定承諾時に料金が発生する成果報酬型モデルによる採用活動にシフトする傾向が急速に強まりました。こうした状況に加え、全体的な就職活動の早期化を受け、企業が2023年卒の採用活動を加速したことにより、来期（2022年9月期）計上予定案件の受注が増加し、当期計上分の案件受注が鈍化いたしました。その結果、特にこれまで売上・利益を牽引してきた連合企画の売上が伸び悩み、採用支援事業が約5億円の売上未達となる見通しです。

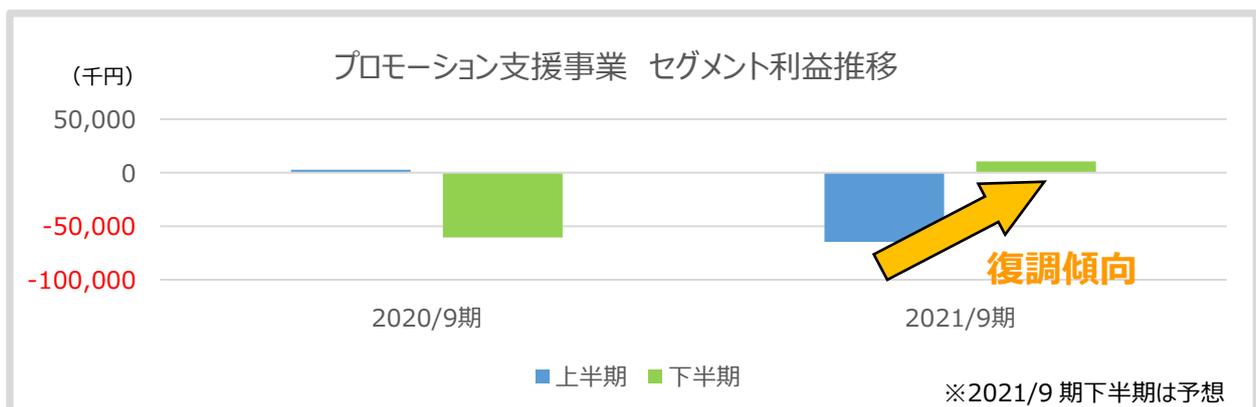
こうした中、当社グループでは、イベントや各種事務局運営代行のノウハウと、衛生商材・レンタル商材を組み合わせることで、新型コロナウイルスのワクチン接種会場の運営や、ワクチン職域接種後の事務作業一括代行サービスも複数案件受注するなど、当社グループの経営資源を結集して、業績予想の達成に向けた取り組みを展開してまいりました。その結果、全事業セグメントにおいて、ワクチン接種関連の案件で一定程度売上・利益を下支えでき、主に第4四半期以降に計上する予定です。また、第4四半期に向けては両事業ともニーズの高い商材に営業を注力し、受注ペースが回復しつつあります。さらに、教育機関支援事業は大学・専門学校の学生獲得ニーズが復調し、期初予算の想定に沿って堅調に推移しているほか、グループ全体の販売費及び一般管理費につきましては期初予想を下回る水準で推移しております。

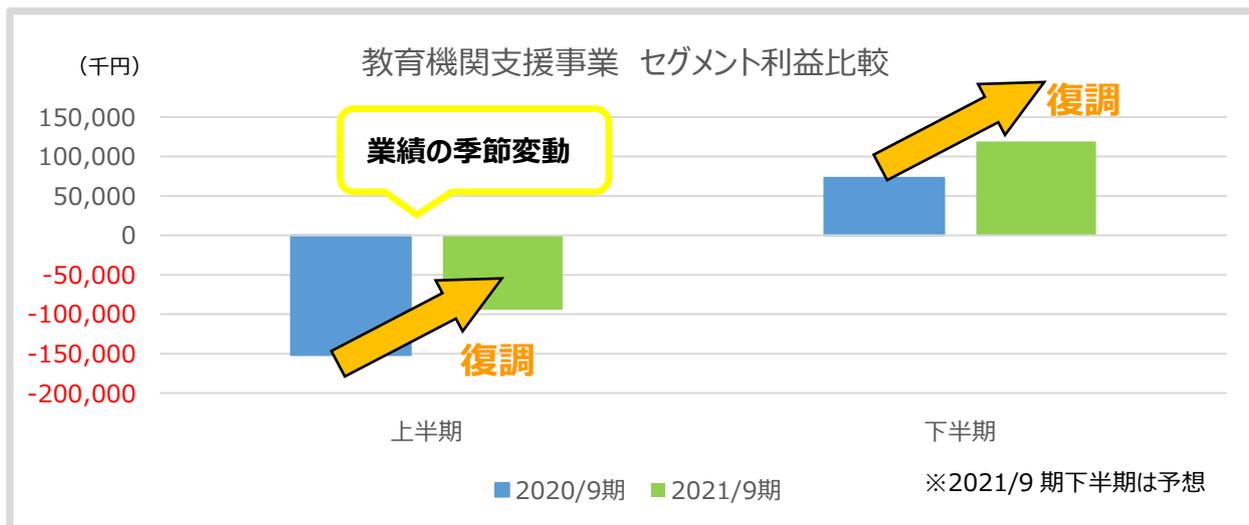
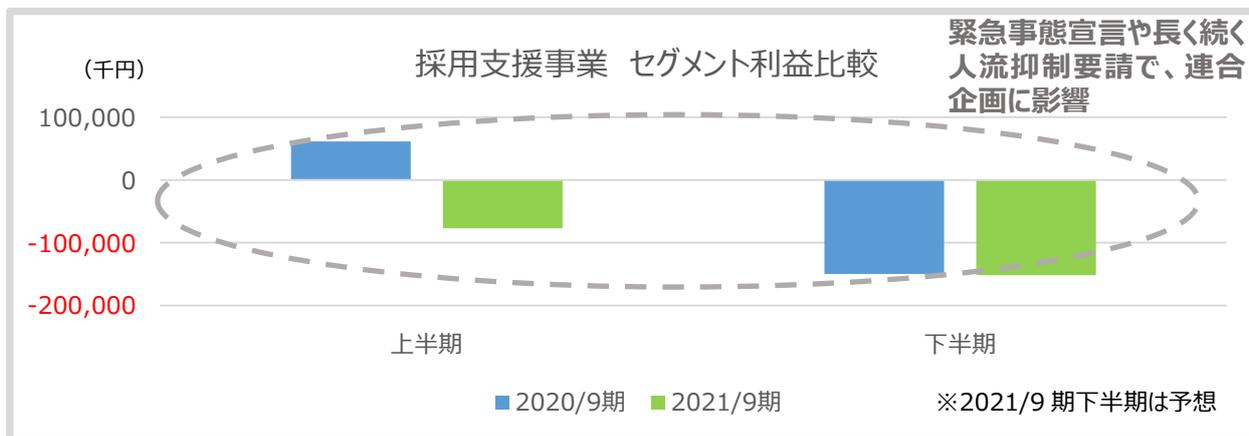
しかしながら、当期の売上・利益の減少分を全てカバーし切れる状況には至らず、損失が生じる見通しとなりました。また、今回の業績予想の修正に伴い、前期（2020年9月期）に続いて連結ベースで営業損失が発生する見通しとなったことから、当社グループの投資額の回収可能性を判断した結果、2021年9月期第3四半期決算にて資産の減損損失（180百万円）を特別損失として計上いたしました。

以上の結果、誠に遺憾ではございますが、通期業績予想を修正させていただくことに至りました。なお、今回の業績予想の修正にあたっては、2021年8月31日まで東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪の各都府県に再々々発出されている緊急事態宣言の影響を加味して、業績予想を算出しております。

<補足>

- 教育機関支援事業については、大学・専門学校の学生獲得ニーズが復調し、売上・利益面とも、期初予算の想定に沿って堅調に推移しております。
- グループ全体の販売費及び一般管理費につきましては、期初予想を下回る水準で推移しております。





7. 業績の季節変動要因について

当社グループの業績は季節変動要因を抱えております。当社グループの事業のうち、採用支援事業は、就活関連のイベントの開催やアウトソーシング業務等が増加する第2四半期及び第3四半期に売上が集中する傾向があります。教育機関支援事業においても、進学説明会の開催や学校のプロモーション活動が増加する第3四半期から第4四半期にかけて売上が集中する傾向があります。こうした傾向に加え、2021年9月期第3四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言の再々発出による業績への影響が加わり、営業損失が生じております。

また、上記の要因に伴い、採用支援事業においては第3四半期連結累計期間が営業利益（損失）のピークとなる傾向があり、第3四半期までの営業利益（損失）累計額との比較において、通期の営業利益（損失）が減少することを見込んでおります。また、2021年9月期については、教育機関支援事業においても第3四半期連結累計期間が営業利益のピークとなることを見込んでおります。

これに伴い、当社グループにおける通期の連結営業利益（損失）は第3四半期までの営業利益の累計額と比較して減少することを見込んでおり、通期業績予想の修正内容は、この想定を踏まえた数値となっております。

8. 配当予想

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、長期的な観点から、将来の事業展開、財務体質の強化などバランスを勘案しながら実施する方針です。

2021年9月期は、新型コロナウイルスの感染拡大や経済情勢が不透明であることから、これまで未定とし、配当予想の公表が可能となった段階で、改めて公表させていただく方針としておりました。今般、上記「5. 通期 連結業績の見通し」に記載の通り、2021年9月期通期で損失が見込まれることとなりましたため、誠に遺憾ながら無配とさせていただく見通しです。

※株主優待制度に変更はございません。

配当	2021年9月期（予想）
期末配当金	0円0銭

9. 今後の経営方針

一般の業績予想修正を真摯に受け止め、今後の業績回復につなげるため、当社グループでは2022年9月期に向けて、以下の経営方針で事業を展開してまいります。

<グループ全般>

当社グループでは、従来の事業領域にとらわれず、デジタル・アナログ・モノを融合したクライアントに対するトータルサポートサービスを展開しております。今後、さらに**他社との業務提携や新規事業の開拓を図り、特にデジタル商材や大型案件受注の強化と他社とのシナジーによる売上・利益の拡大にまい進**してまいります。方向性がまとまった事案から、順次当社ホームページ等を通じて、情報提供を行う予定です。

なお、来期となる**2022年9月期の受注については、連結ベースで前年同期を上回る水準で進捗**しております。

<プロモーション支援事業>

プロモーション支援事業においては、①**デジタル**、②**キャンペーン事務局**、③**発送代行（自社業務推進センターの活用）**、④**防災**の4点を成長領域と位置づけて、早期の黒字化を図ります。

デジタル、キャンペーン事務局分野は、2021年9月期より伸長傾向にあり、**新商材の投入とコンサル型営業へのシフトにより、さらなる売上・利益の拡大を図ります**。発送代行分野は、自社の業務推進センターを活用し、**会員を有する企業や機関の定期刊行物の取扱量増大**を目指します。防災分野は、これまで横浜市・大阪府・和歌山県で発行している小学生向けの防災ハンドブック企画を他の自治体にも展開いたします。すでに**複数自治体での企画実施が決定しており、これをさらに広げてまいります**。

なお、2022年9月期の売上受注については、前年同期を上回る水準で進捗しております。

<採用支援事業>

採用支援事業においてはイベント数を厳選するとともに、**市場ニーズの高い新卒紹介を強化**。ダイレクトリクルーティングサービスについて株式会社 i-plug を始めとして**複数の企業と業務提携**を行い、クライアントの採用手法のシフトに対応できる体制を構築して、2022年9月期に本格展開いたします。

また、個別案件は引き合いの良い状況が続いており、今後は**堅調な個別案件の商材の割合を増やして、拡販**を行ってまいります。それにより、早期の黒字化を図ります。さらに、複数領域のインターネットメディア事業を展開するポート株式会社と業務提携し、主に採用支援事業領域における**デジタルマーケティングの強化と、キャリアセンターを利用する学生に向けた新サービスの共同開発**に取り組みます。

なお、2022年9月期については、東京都より「令和3年度 中小企業しごと魅力発信プロジェクト実施運営等業務委託」を受注するなど、大型の個別案件も決定しており、受注は前年同期を上回る水準で進捗しております。

<教育機関支援事業>

教育機関支援事業においては、「教育機関の運営・発展のための総合プロデュース企業」として、教育機関の全部門に取引先を拡大しており、**2021年9月期においてもセグメント利益の黒字復調**を予定しております。

2022年9月期以降は、教育機関の総合支援化を柱に、入試広報分野においてはアフターコロナを見据えた**外国人留学生募集支援を拡大**して行くほか、**大学の募金・校友課・同窓会、その他部署、資格試験団体や塾、教育関連の民間企業などへの取引を拡大**し、増収増益を図ります。

なお、2022年9月期の受注については、前年同期を上回る水準で進捗しております。

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以 上